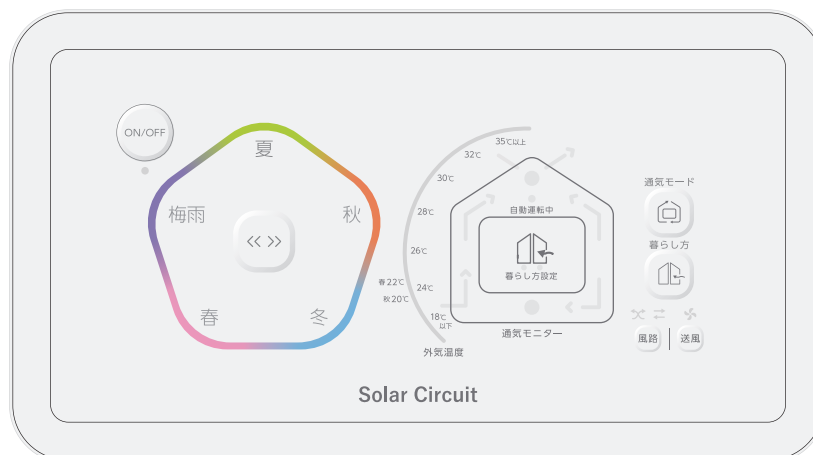


SCナビゲーター [TS-300] 取扱説明書



もくじ

安全のために必ず守ること	02
はじめに	03
各部の名称	04
SCナビゲーターの機能	05
温度表示／地域設定と季節カレンダー	06
初期設定(システムの仕様と地域の設定)	07
年月日と時間設定	08
各通気モードの機能	09
運転のしかた	11
暮らし方設定／24時間換気風路切換制御	16
送風機能／上手にお使いいただくために	17
自動運転時、外気温度と小屋裏温度によるシステムの動き方	18
暮らし方設定と24時間換気風路切換制御の動き方	21
システムの動作点検とお手入れ	22
エラー表示と解除方法	25
故障かな?と思ったら	26
機器の主仕様	27
修理やお手入れのご相談・お問い合わせ	28

- この取扱説明書は、システムを正しく安全にお使いいただくために、ご理解頂きたいことを説明していますので最後までお読みください。
- ご使用前に「安全のために必ず守ること」を確認して、正しくお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- この製品は日本国内用のため、日本国外では使用できず、またアフターサービスも利用できません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

お施主様自身では据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません)

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの



禁止

- ガス漏れに気付いたときは、SCナビゲーターの操作はしない
爆発・引火の原因。
- 一般照明用白熱電球は、製品に接続しない
発火・故障の原因。



水ぬれ禁止

- 製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない
ショート・感電の原因。



分解禁止

- 改造や工具を必要とする分解はしない
火災・感電・ケガの原因。
分解・修理は修理技術者のいる販売店にご相談ください。



指示に従う

- お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る
感電・ケガの原因。

- 交流100Vを使用する
火災・感電の原因。

- 異常・故障時には、直ちに使用を中止する
発煙・発火・感電・ケガの原因。

〈異常・故障例〉

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 回転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則である。
(モーターはメンテナンスが必要な部品です)
- こげ臭いにおいがする。
- 本体据付部に腐食・破損などがある。
など
- ※すぐに分電盤のブレーカーを切って、販売店へ点検依頼をしてください。



アース確認

- アースが取付けられているか確認する
(SCナビ用床下ダンパー)
故障や漏電のとき感電の原因。
アースの取付は工務店・電気工事店にご相談ください。



注意

誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの



禁止

- 本体に異常な振動が発生した場合は使用しない
本体・部品の落下によるケガの原因。

- 高温(40℃以上)や直接炎のあたる恐れのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用しない
火災の原因。



接触禁止

- 運転中は危険ですから、SC小屋裏ファンの羽根やSCナビ床下ダンパーの中に指や物を入れない
ケガの原因。



風呂・シャワー室での使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所では使用しない
感電・故障の原因。



指示に従う

- 電気工事は必ず電気工事店に依頼する
感電の原因。

- お手入れ後の部品の据付けは確実にこなう
落下によるケガの原因。

- お手入れの際は手袋を着用する
ケガの原因。

- 長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。



お願い

- スプレー(殺虫剤・整髪用・掃除用)などをSCナビゲーターなどのプラスチック部分にかけないでください
部品の変質・破損の原因。

- SCナビ用床下ダンパーの屋外グリル部はネジで閉めておいてください
挟まれてケガの原因。

お願い

- 開閉タイプ採用の場合、台風時など床下浸水が予想される場合には漏電の恐れがありますのでSCナビゲーターのブレーカー電源を切ってください。(半自動仕様の場合はSC床下ダンパーを閉鎖)
なお、床下ダンパーを閉鎖しても浸水を完全に防ぐことはできません。
- 床下浸水があった場合は部品の交換が必要です。(工務店・電気工事店にご相談ください)
- 雪で床下ダンパーがふさがりような場合は、雪が侵入しないような処理をしてください。
- 使用可能な周囲温度条件(-10~40℃)以外のところに据付けられていないか確認してください。
- 温度センサーの近くに発熱機器や高温の排気口など温度感知の障害となるものを設けないでください。

はじめに

ソーラーサーキット (通称:SC) は、異なる2種類の通気タイプと、それらがそれぞれ2つの仕様に分かれています。お住まいの建物がどの仕様に該当しているか、あらかじめご確認の上、本製品をご使用ください。下図は、仕様および通気モードの一覧です。

	通気タイプ	仕様	通気モード	
SC	開閉タイプ	K1 自動仕様	(マニュアル運転)	
			床下モード	
		小屋裏モード		
		停止モード		
	K2 半自動仕様	自動運転	床下モード	
			小屋裏モード	
		停止モード		
		循環タイプ	J1 一般仕様	自動運転
	小屋裏モード			
	停止モード			
	J2 準耐火仕様		自動運転	床下モード
		小屋裏モード		
停止モード				
建設時に確定するもの			操作により変更可能なもの	

該当する仕様に対し、ページ上端部に **K1 K2 J1 J2** を記載しています。

SCナビゲーターの付加機能(オプション)

上記のバリエーションのほか、以下の2つの機能を使用することができます。この2つのオプション機能を利用可能な電気工事がされているか、お建てになった工務店様に確認してください。

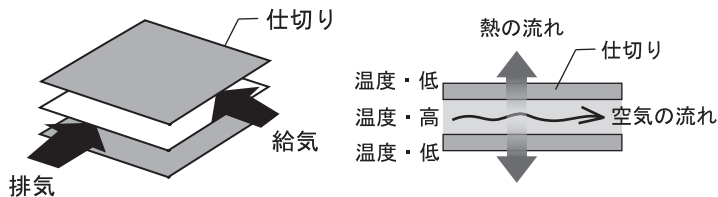
■24時間換気システム風路切換制御機能

【熱交換】エレメント(熱交換器)により、換気の際に捨てられてしまう室内の暖かさや涼しさを再利用(熱回収)しながら換気します。65~73.5%の熱エネルギーを回収でき、夏期・冬期の冷暖房負荷を低減し、省エネ換気が可能です。

【外気導入】熱交換をせず、外気をそのままの温度で換気します。

現在の外気温度から熱交換または外気導入を自動で判断して制御します。

※上記値はJIS規格(JIS B 8628)に基づいて測定した値です。



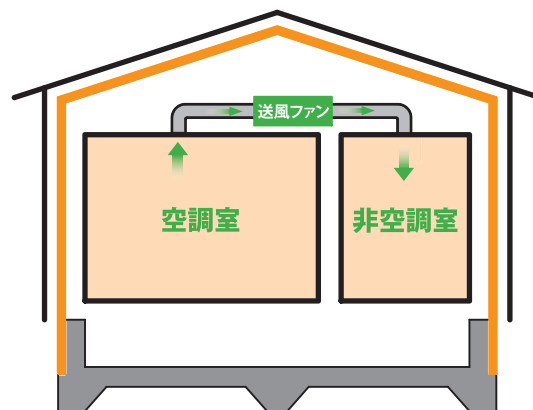
■ご注意

- 採用された24時間換気の仕様が第三種換気(SC-V3)またはリフレア(外気処理換気システム)の場合、本機能を使用することができません。
- 採用された24時間換気機器が本機能を使用可能な仕様であっても、風路切換えダンパー制御の結線が壁スイッチ側に接続されている場合は、SCナビゲーターで制御することができません。

■送風機能

空調室から非空調室に居室空気を送風したり、居室内で循環させ空気清浄、または小屋裏空間から床下空間に送風など、空気を送る機能として様々な用途に利用できます。

本機能については(株)カネカソーラーサーキットのお家が送風計画書を作成します。計画書に基づき、本機能を施工されている建物のみ利用することができます。

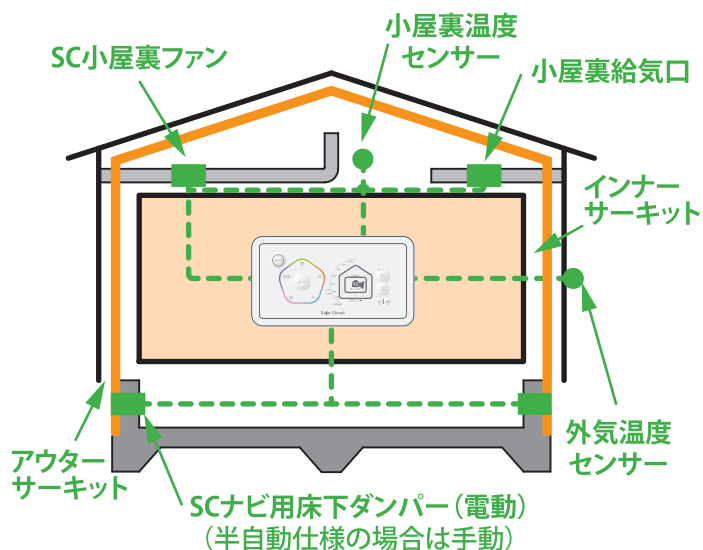


(例) 空調室から非空調室に送風する場合

各部の名称

■開閉タイプ(自動仕様・半自動仕様) K1 K2

開閉タイプは、建物に断熱性を付加するとともに、気密性と通気性という相反する機能を屋外の気温と小屋裏の温度に応じて使い分ける「外断熱・二重通気工法」です。SCナビゲーターの操作によって、冬期は断熱・気密構造による保温性、夏期は断熱・通気構造による遮熱性・排熱性によって、日々の気候変化による屋内の温度変化をより穏やかにすることができます。

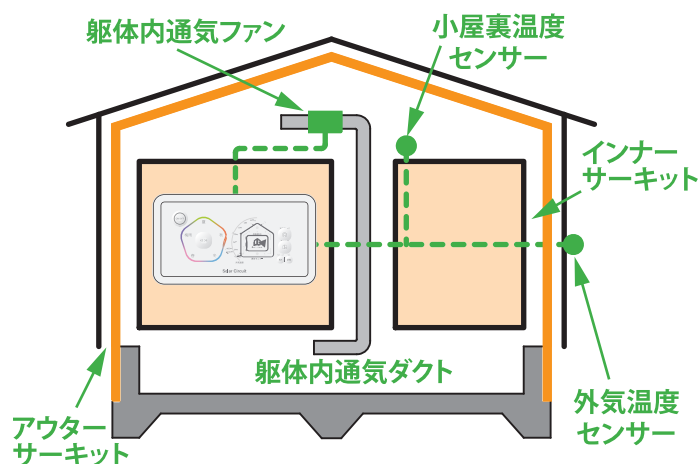


- SC小屋裏ファン
インナーサーキットに取り込んだ空気を屋外に排気します。
- SC床下ダンパーまたはSCナビ用床下ダンパー
インナーサーキットに外の空気を取り込むダンパーです。
- 小屋裏給気口
小屋裏のみを通気するときに外の空気を取り込む給気口です。電動で開閉します。
- インナーサーキット
断熱材の内側に設けられた内側通気層で、床下から小屋裏まで連通された通気層です。
- アウターサーキット
外装材と断熱材の間に設けられた屋外側の通気層です。
- 外気温度センサー／小屋裏温度センサー
SCナビゲーターが自動で運転するための温度を感知します。

※SCナビ用床下ダンパー(電動)が選択されている場合が自動仕様。
SC床下ダンパー(手動)が選択されている場合が半自動仕様です。

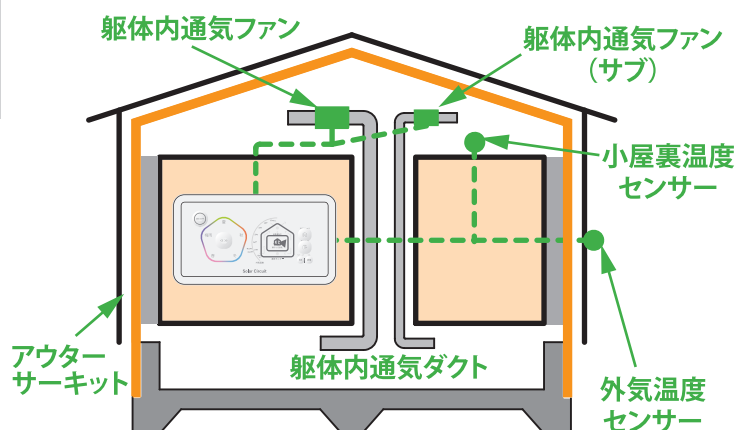
■循環タイプ(一般仕様) J1

循環タイプ(一般仕様)は、建物に高い断熱性を付加するとともに、ソーラーサーキット専用の熱交換型第一種換気システムを搭載することで、屋外の湿気に対する耐久性をより高めた「外断熱・二重通気工法」です。特徴として、高い気密性能をもつ内側通気層(インナーサーキット)と躯体内通気ダクトでつながる、小屋裏空間と床下空間の空気を躯体内通気ファンの操作で循環させ、夏の小屋裏や外壁内部の温度上昇、梅雨等の床下のジメジメを抑えることができます。



- 躯体内通気ファン
必要に応じて風方向を切替えながら小屋裏から床下へ、床下から小屋裏へ空気搬送します。
- 躯体内通気ダクト
床下と小屋裏をつなぐ空気循環用のダクトです。
- インナーサーキット
断熱材の内側に設けられた内側通気層で、床下から小屋裏まで連通された通気層をいいます。
- アウターサーキット
外装材と断熱材の間に設けられた屋外側の通気層です。
- 外気温度センサー／小屋裏温度センサー
SCナビゲーターが自動で運転するための温度を感知します。

■循環タイプ(準耐火仕様) J2



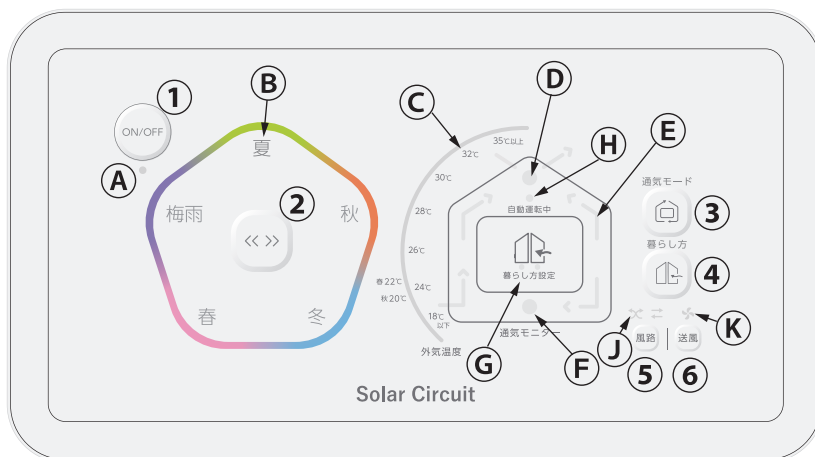
循環タイプ(準耐火仕様)は、一般仕様と同様の仕組みですが、違いとして屋内からの防火規制がある準耐火構造では、外壁内部の airflow を止める必要があり、インナーサーキットを介した空気循環をおこなうことができません。代わりに小屋裏の暖気や床下の冷気を活用しながら両空間の空気を往復させて温湿度を馴染ませる仕様です。外壁の室内側通気層となるインナーサーキットはありません。小屋裏モード強運転時のみに運転するサブ躯体内通気ファンも設置されています。

SCナビゲーターの機能

SCナビゲーターは通気システムの操作や自動制御だけでなく、オプション機能となる24時間換気システム熱交換／外気導入の自動制御や送風（空気搬送）の操作もおこなうことで、四季の暮らしがより快適になるようアシストします。

～主な機能～

- 季節にあった通気制御パターンを自動で選択
- 敷地周辺の外気温度や小屋裏温度に応じて通気モードを自動制御
- 外気温度、小屋裏温度、床下温度の状態を表示
- 暮らし方（エアコンの利用頻度）にあわせて通気モード切替温度や、24時間換気熱交換／外気導入切替温度を調整



ボタン

①ON/OFFボタン

運転のON／OFFを切替えます。

②スキップボタン

季節の移行期間中に、実際の気象条件に季節をあわせるボタンです。

③通気モードボタン

測定温度に応じた自動運転または、床下モード／小屋裏モード／停止モード運転のいずれかを固定で選択するスイッチです。

④暮らし方ボタン

空調利用頻度に応じて、通気モードの切替温度や24時間換気熱交換制御の切替温度を調整します。

⑤風路ボタン

外気温度に応じた自動設定、または熱交換固定／外気導入固定のいずれかを選択するスイッチです。ボタン上の表示ランプは現在の状況を表示します。

⑥送風ボタン

送風ファンの運転／停止を操作します。
ボタン上の表示ランプは、送風ファン運転時に点灯します。

表示ランプ

①ON/OFF表示

運転がONの場合は点灯し、OFFの場合は消灯します。

②季節表示

地域ごとの制御カレンダーに応じ、現在の季節を指す文字が点灯します。

文字点灯：現在選択している季節

文字点滅：スキップボタンで移行可能な季節

③外気温度表示

外気温度センサーで測定している屋外の温度帯を表示します。

④小屋裏温度表示

小屋裏：現在の温度状況を表示します。

⑤通気経路表示

現在おこなっている通気モードの通気経路を矢印点灯で表示します。現在の通気モードはここでわかります。

⑥床下温度表示

床下：外気温に対して床下がひんやりしている条件時のみ青点灯します。(6ページ参照)

⑦暮らし方設定表示

現在設定されている暮らし方を表示します。普段は消灯していて、暮らし方ボタンを押すと点灯し、設定状態を確認できます。

⑧通気モード自動運転表示

通気モードが「自動運転」を選択されている時に点灯します。

⑨風路運転表示

現在の運転状況（熱交換または外気導入）を表示します。

⑩送風運転表示

送風ファン運転時は点灯し、停止時は消灯します。

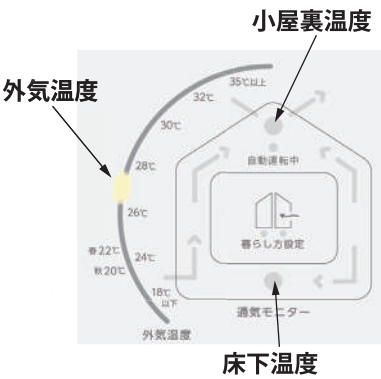
お知らせ

- 表示されているLEDランプが眩しく感じる場合は、「通気モード」ボタンと「暮らし方」ボタンを同時に5秒以上長押しすると発光度合をやや暗めに変更できます。同じ操作で、暗め→通常→暗め、と交互に切替え可能です。長押し操作後、すぐに明るさが切替わります。

※暗めの設定をおこなわなくても22時～翌4時の間のみ、暗めの点灯に切替わります。

- 24時間換気風路切替制御機能および送風機能は、初期設定で「無効」に設定された場合は、どちらも点灯しません。
- 暮らし方ボタンと風路ボタンについては、ボタン操作の1度目で現在の状態を表示し、2度目の操作から設定変更が変更されます。
- 季節の移行期間中の点滅を消したい場合は「スキップボタン」を5秒以上長押しすることで消灯させることができます。(次の季節の移行期間には、また点滅します)

温度表示



■外気温度
外気温度センサーで測定している外気の温度で、LEDが点灯している範囲内の温度であることを表示します。
(例) 左図の点灯パターンは26℃～28℃の間であることを指しています。

■小屋裏温度／床下温度
丸いランプは現在の小屋裏と床下の温度状態を表します。
小屋裏温度：小屋裏温度センサーで測定した温度を表示
床下温度：通気活用に有用な温度である状態を表示
※床下は温度センサーによる測定をおこなっていないため、外気温度との相対効果として表示します。

■開閉タイプ

季節	小屋裏温度			床下温度
	●点灯	○消灯	●点灯	●点灯
春・秋	30℃以上	28℃以上 30℃未満	28℃未満	外気温30℃以上
梅雨				消灯
夏				常時点灯
冬	25℃以上	18℃以上 25℃未満	18℃未満	消灯

■循環タイプ

季節	小屋裏温度			床下温度
	●点灯	○消灯	●点灯	●点灯
春・秋	30℃以上	28℃以上 30℃未満	28℃未満	外気温28℃以上
梅雨				消灯
夏				常時点灯
冬	22℃以上	22℃未満	—	消灯

地域設定と季節カレンダー

- 下表の地域設定 1～7 の該当する都道府県は以下の通りです。
- 地域設定 1：北東北(岩手県、秋田県、青森県)
- 地域設定 2：東北・甲信越(山形県、宮城県、福島県※1、長野県、新潟県、山梨県)
- 地域設定 3：関東・北陸(千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、栃木県、群馬県、茨城県、富山県、石川県、福井県)
- 地域設定 4：東海・近畿(静岡県、愛知県、岐阜県※2、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、和歌山県、奈良県、兵庫県)
- 地域設定 5：中国・四国(香川県、徳島県、愛媛県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)
- 地域設定 6：九州(福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、鹿児島県、宮崎県、高知県※3)
- 地域設定 7：沖縄・南西諸島(沖縄県、鹿児島県島しょ部、長崎県島しょ部)

※1 平野部以外の場合は地域設定 1 の北東北を選択してください。

※2 平野部以外の場合は地域設定 2 の東北・甲信越を選択してください。

※3 高知県は四国ではなく地域設定 6 の九州を選択してください。

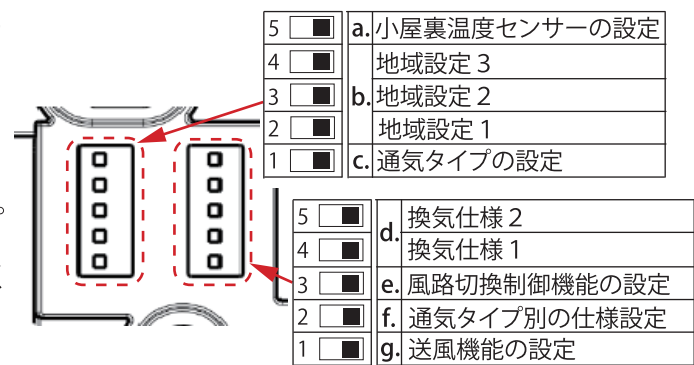
地域 設定	冬		春		梅雨		夏		秋	
	季節変更不可	[冬⇄春]移行期間	季節変更不可	[春⇄梅雨]移行期間	季節変更不可	[梅雨⇄夏]移行期間	季節変更不可	[夏⇄秋]移行期間	季節変更不可	[秋⇄冬]移行期間
	文字：点灯	文字：点灯+点滅	文字：点灯	文字：点灯+点滅	文字：点灯	文字：点灯+点滅	文字：点灯	文字：点灯+点滅	文字：点灯	文字：点灯+点滅
1	10/23~3/31	4/1~4/30	5/1~5/29	5/30~6/14	6/15~6/30	7/1~8/9	8/10~9/15	9/16~9/22	9/23~10/16	10/17~10/22
2	11/7~3/20	3/21~3/31	4/1~5/29	5/30~6/7	6/8~6/30	7/1~8/6	8/7~9/15	9/16~9/22	9/23~10/22	10/23~11/6
3	11/14~3/20	3/21~3/31	4/1~5/24	5/25~6/6	6/7~6/30	7/1~8/6	8/7~9/22	9/23~10/7	10/8~11/6	11/7~11/13
4	11/14~3/20	3/21~3/31	4/1~5/19	5/20~6/4	6/5~6/30	7/1~8/3	8/4~10/7	10/8~10/14	10/15~11/6	11/7~11/13
5	11/14~3/20	3/21~3/31	4/1~5/4	5/5~5/30	5/31~6/30	7/1~8/3	8/4~10/7	10/8~10/14	10/15~11/6	11/7~11/13
6	12/1~2/29	3/1~3/20	3/21~5/4	5/5~5/30	5/31~6/30	7/1~7/29	7/30~10/14	10/15~10/22	10/23~11/21	11/22~11/30
7	12/29~2/12	2/13~2/22	2/23~4/19	4/20~5/9	5/10~5/31	6/1~7/10	7/11~10/14	10/15~10/21	10/22~12/21	12/22~12/28

初期設定 (システムの仕様と地域の設定)

本設定作業は施工時におこなわれるため、建物の引き渡し時には初期設定が既に完了しています。施工された仕様が不明な場合は、お建てになった工務店様にご確認ください。

ご注意

工場出荷時はディップスイッチが全て右側に設定されています。設定が正しくおこなわれていない場合、または工場出荷時のままでは通気経路ランプが交互点滅してエラー表示します。正しく設定してからでなければ本製品の使用を開始できません。



a. 小屋裏温度センサーの設定

通常 (TS-300の場合) は「有効」に設定してください。旧SCナビゲーター (TS-100またはTS-200) から本体交換する場合など、既存の古いタイプの外気温度センサーをそのまま活用して本体に接続する場合は「無効」を設定してください。

有効	無効
☐ 5	☐ 5

※通気タイプが循環タイプの場合、小屋裏温度センサー無効設定ではSCナビゲーターを利用できません。

b. 設置地域の設定

お使いになる地域を設定してください。

ディップスイッチ 番号	地域 1 北東北	地域 2 東北・甲信越	地域 3 関東・北陸	地域 4 東海・近畿	地域 5 中国・四国	地域 6 九州	地域 7 沖縄・南西諸島
地域設定 3	☐ 4	☐ 4	☐ 4	☐ 4	☐ 4	☐ 4	☐ 4
地域設定 2	☐ 3	☐ 3	☐ 3	☐ 3	☐ 3	☐ 3	☐ 3
地域設定 1	☐ 2	☐ 2	☐ 2	☐ 2	☐ 2	☐ 2	☐ 2

c. 通気タイプの設定

開閉タイプまたは循環タイプどちらの通気仕様を選択してください。

開閉タイプ	循環タイプ
☐ 1	☐ 1

※地域 7 の場合、通気タイプは開閉タイプを選択できません。

d. 24時間換気仕様の設定

お使いになる24時間換気システムの仕様を選択してください。

ディップスイッチ 番号	ユニエア リフレア (新)	第 1 種換気	第 3 種換気 S C - V 3	リフレア (旧) 全館除湿
換気仕様 2	☐ 5	☐ 5	☐ 5	☐ 5
換気仕様 1	☐ 4	☐ 4	☐ 4	☐ 4

※地域 7 の場合、第 3 種換気を選択できません。

e. 風路切換制御機能の設定

第一種換気システムの熱交換/外気導入の切換えをSCナビゲーターから制御させる場合は「有効」を選択します。

有効	無効
☐ 3	☐ 3

※第 3 種換気を使用する場合、「有効」を選択できません。誤って「有効」を選択した場合も無効設定として扱われます。

f. 通気タイプ別の仕様設定

開閉タイプ: お使いの通気仕様が開閉タイプの場合
床下ダンパーが手動タイプ (半自動仕様) または電動
タイプ (自動仕様) を選択します。

半自動仕様	自動仕様
☐ 2	☐ 2

K1 K2

循環タイプ: お使いの通気仕様は循環タイプの場合
通気仕様を準耐火仕様または一般仕様を選択します。

準耐火仕様	一般仕様
☐ 2	☐ 2

J1 J2

g. 送風機能の設定

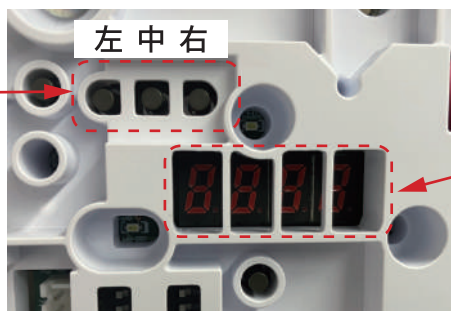
速結端子の空き端子を利用し、送風機能を利用する場合は有効を選択します。

有効	無効
☐ 1	☐ 1

年月日と時間設定

SCナビゲーターは本体の年月日設定と外気温度／小屋裏温度にもとづき、季節と通気モードを自動で選択しますので、必ず正しい年月日に設定の上お使いください。年月日を正しく設定せずに自動運転されると、適切な通気モードが選択されない恐れがありますのでご注意ください。

年月日と時間設定ボタン
左：アップボタン／中：ダウンボタン／右：セットボタン



年月日、時間表示

1～7の手順で設定してください。設定の際は先の細い棒状のものでボタンを操作してください。

※ボタン以外の部分に触れないよう、気を付けて操作してください。

操作前は年月日、時間表示LEDは消灯しています。設定途中でも操作が10秒以上ない場合は、設定モードが終了し、年月日・時間表示LEDが消灯します。設定途中でLEDが消灯すると、それまでの設定が反映されませんので、最初からやりなおしてください。

1 セットボタンを押す(1回目)

“年”の表示

2025 (点灯)
(例: 2025年)

2 セットボタンを押す(2回目)

“月日”の表示

123 (点灯)
(例: 1月23日)

3 セットボタンを押す(3回目)

“時分”の表示

1234 (点灯)
(例: 12時34分)

4 セットボタンを押す(4回目)

“年”の設定

2025 (点滅)



アップボタン、ダウンボタンで設定する
ボタンを押すごとに1の桁の数字が設定
できます。
長押しすると10の桁が設定できます。

設定内容の確認

1～3の手順で正しく設定されたか確認してください。

5 セットボタンを押す(5回目)

“月日”の設定

123 (点滅)



アップボタン、ダウンボタンで設定する
ボタンを押すごとに1の桁の数字が設定
できます。
長押しすると10の桁が設定できます。

6 セットボタンを押す(6回目)

“時分”の設定

1234 (点滅)
時分は24時間表示です



アップボタン、ダウンボタンで設定する
ボタンを押すごとに1の桁の数字が設定
できます。
長押しすると10の桁が設定できます。

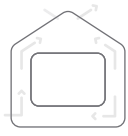
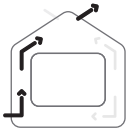
7 セットボタンを押す(7回目)

設定終了

(消灯)

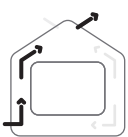
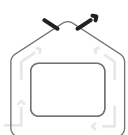
各通気モードの機能(開閉タイプー自動仕様) K1

SCナビゲーターに接続されている温度センサーで外気温と小屋裏温度を感知して、小屋裏ファンの運転や床下ダンパー、小屋裏給気口の開閉を自動でおこないます。涼しい時には建物の気密性能を高めて建物から熱が逃げるのを抑え、暑い時には通気性能を高めて建物内部にこもった熱を排出します。マニュアル運転による通気モード固定も可能です。

通気モード	通気の効果	機器の運転状態	表示
停止モード	建物の気密性を高めます。 冬は、暖かさが逃げるのを抑えます。 夏は、暑すぎる高温外気や急激な気温低下時の外気の取込を防ぎます。	床下ダンパー:閉鎖 小屋裏ファン:停止 小屋裏給気口:閉鎖	
床下モード	床下・小屋裏の通気性を高めます。 夏は、外壁や小屋裏の熱ごもりを緩和します。	床下ダンパー:開放 小屋裏ファン:強運転 小屋裏給気口:閉鎖	
小屋裏モード	小屋裏の通気性を高めます。 夏は、小屋裏の熱ごもりを抑え、床下のひんやりした空気を逃がしません。 春と秋は、小屋裏の熱ごもりを抑え、床下は冷え過ぎないように保温します。	床下ダンパー:閉鎖 小屋裏ファン:弱運転 小屋裏給気口:開放	

各通気モードの機能(開閉タイプー半自動仕様) K2

SCナビゲーターに接続されている温度センサーで外気温と小屋裏温度を感知して、小屋裏ファンの運転や小屋裏給気口の開閉を自動でおこないます。涼しい時には建物の気密性能を高めて建物から熱が逃げるのを抑え、暑い時には通気性能を高めて建物内部にこもった熱を排出します。夏は床下ダンパーを手動で開放し床下モードを活用します。マニュアル運転による通気モード固定も可能です。

通気モード	通気の効果	機器の運転状態	表示
停止モード	建物の気密性を高めます。 冬は、暖かさが逃げるのを抑えます。	床下ダンパー:閉鎖 小屋裏ファン:停止 小屋裏給気口:閉鎖	
停止モード (夏の床下ダンパー開放時)	床下の通気性を維持しながら、小屋裏の通気性を抑えます。 夏は、小屋裏への高温外気の取込みを防ぎます。	床下ダンパー:開放 小屋裏ファン:停止 小屋裏給気口:閉鎖	
床下モード	床下・小屋裏の通気性を高めます。 夏は、外壁や小屋裏の熱ごもりを緩和します。	床下ダンパー:開放 小屋裏ファン:強運転 小屋裏給気口:閉鎖	
小屋裏モード	小屋裏の通気性を高めます。 春・秋は、小屋裏の熱ごもりを抑え、床下は冷え過ぎないように保温します。	床下ダンパー:閉鎖 小屋裏ファン:弱運転 小屋裏給気口:開放	
小屋裏モード (夏の床下ダンパー開放時)	床下の通気性を維持しながら小屋裏の通気性を高めます。 夏は、小屋裏を積極的に通気して小屋裏の熱ごもりを抑えます。	床下ダンパー:開放 小屋裏ファン:弱運転 小屋裏給気口:開放	

各通気モードの機能 (循環タイプ—一般仕様) J1

SCナビゲーターに接続されている温度センサーで外気温と小屋裏温度を感知して、躯体内通気ファンの運転を自動でおこないます。マニュアル運転による通気モード固定も可能です。

通気モード	通気の効果	機器の運転状態	表示
停止モード	躯体内通気ファンの運転を停止してインナーサーキット通気層内の空気循環を取りやめます。	躯体内通気ファン ：運転停止	
床下モード	春は、小屋裏の空気を床下に送って、冬の間に冷めた床下を温めます。 梅雨は、小屋裏の空気を床下に送って、床下を温めて相対湿度の上昇を抑えます。 冬は、小屋裏の空気を床下に送って、床下の冷え込みを和らげます。	躯体内通気ファン ：下向き運転	
小屋裏モード	暑さが気になる季節は、床下の空気を小屋裏に送って、小屋裏や壁内の温度や相対湿度の上昇を抑えます。	躯体内通気ファン ：上向き運転 (強運転／弱運転)	

※小屋裏モードを使用する際、強運転／弱運転の使い分けができるのは自動運転時で、マニュアルモードで使用する場合は強運転のみとなります。

各通気モードの機能 (循環タイプ—準耐火仕様) J2

SCナビゲーターに接続されている温度センサーで外気温と小屋裏温度を感知して、躯体内通気ファンの運転を自動でおこないます。マニュアル運転による通気モード固定も可能です。

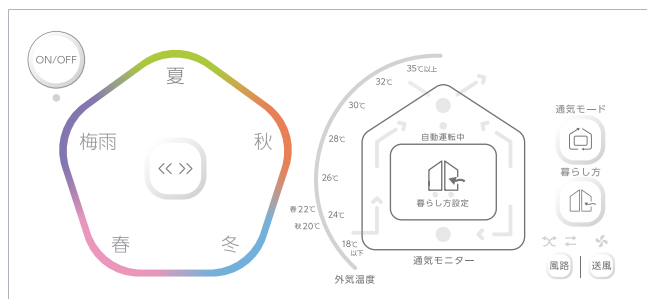
通気モード	通気の効果	機器の運転状態	表示
停止モード	躯体内通気ファンの運転を停止してインナーサーキット通気層内の空気循環を取りやめます。	躯体内通気ファン ：運転停止	
床下モード	春は、小屋裏の空気を床下に送って、冬の間に冷めた床下を温めます。 梅雨は、小屋裏の空気を床下に送って、床下を温めて相対湿度の上昇を抑えます。 冬は、小屋裏の空気を床下に送って、床下の冷え込みを和らげます。	躯体内通気ファン ：下向き運転	
小屋裏モード	暑さが気になる季節は、床下の空気を小屋裏に送って、小屋裏や壁内の温度や相対湿度の上昇を抑えます。(弱運転) その通気効果を高めたい時は、小屋裏の空気を床下にも送り両空間の空気の往復風量を増やします。(強運転)	躯体内通気ファン ：上向き運転 (強運転／弱運転)	

※小屋裏モードを使用する際、強運転／弱運転の使い分けができるのは自動運転時で、マニュアルモードで使用する場合は強運転のみとなります。

運転のしかた(開閉タイプー自動仕様)

■自動運転

季節と外気温度・小屋裏温度の変化にあわせて通気モードを自動で制御します。



季節の移行期間が点滅したら

梅雨 ← 変更することができる季節(ゆっくり点滅)

春 ← 現在選択されている季節(点灯)

<< >> ボタンを押すごとに、現在の季節と次の季節を交互に選択することができます。

- 1 ボタンを押して運転を開始します。ボタン下部のランプが点灯します。
- 2 「自動運転中」ランプが点灯するまで ボタンを押してください。
ボタンを1回押すごとに、自動運転中⇒小屋裏モード⇒床下モード⇒停止モード⇒という順に設定が変わります。
- 3 全ての運転を停止したい場合は ボタンを押して運転を停止させます。ボタン下部のランプが消灯します。

ご注意

- 設定の変更操作後、変更が実際に反映されるまで60秒かかります。
- 急な停電の際は小屋裏ファンは停止し、小屋裏給気口は閉鎖しますが、床下ダンパーは停電の瞬間の状態ですべて停止します。
- 夏および秋の自動運転時、外気温度が26℃以上のときに、60分間で2℃以上外気温度が低下した際には60分間停止モードになり、60分間経過後に自動運転に戻ります。
- 季節移行をおこなう際は、梅雨入りや梅雨明けの時期は特に、気象情報に合わせた季節をおすすめします。

■マニュアル運転

通気モードを意図的に指定したい場合に使用します。通常は自動運転でお使いください。

- 1 ボタンを押して運転を開始します。ボタン下部のランプが点灯します。
- 2 指定する通気モードの矢印マークが点灯するまで ボタンを押してください。
ボタンを1回押すごとに、自動運転中⇒小屋裏モード⇒床下モード⇒停止モード⇒という順に設定が変わります。
- 3 全ての運転を停止したい場合は ボタンを押して運転を停止させます。ボタン下部のランプが消灯します。

ご注意

- 設定の変更操作後、変更が実際に反映されるまで60秒かかります。
- 急な停電の際は小屋裏ファンは停止し、小屋裏給気口は閉鎖しますが、床下ダンパーは停電の瞬間の状態ですべて停止します。
- 季節移行をおこなう際は、梅雨入りや梅雨明けの時期は特に、気象情報にあわせて季節をおすすめします。
- 梅雨のマニュアル運転時
床下モードまたは小屋裏モードで固定した運転をした場合、高湿な外気で家が湿気てしまう恐れがあるためマニュアル運転開始から60分後に自動運転に移行します。
- 春・夏・秋のマニュアル運転時
①床下モードまたは小屋裏モードで固定した運転をした場合、外気温20℃以下を感知すると一時的に運転を停止モードにします。60分後に再び床下モードまたは小屋裏モードで運転を再開します。
②外気温が35℃以上の場合は、自動的に30分間運転を停止モードにします。
- 冬のマニュアル運転時
床下モードまたは小屋裏モードで固定した運転をした場合、冷たい外気で家を冷やしてしまう恐れがあるためマニュアル運転開始から60分後に自動運転に移行します。

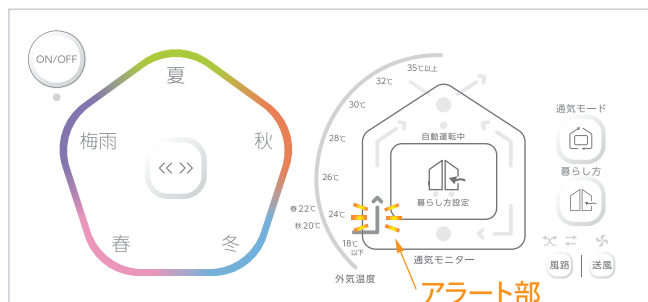
運転のしかた(開閉タイプ-半自動仕様)

※必ずお読みください

半自動仕様では、手動床下ダンパーの開閉状況の確認をお施主様に促すため、アラート点滅をおこないます。これは床下ダンパー閉鎖状態での床下モード運転や、床下ダンパー開放状態での小屋裏モード運転を防ぐための安全確認機能です。

■自動運転

季節と外気温度・小屋裏温度の変化にあわせて通気モードを自動で制御します。



季節の移行期間が点滅したら

梅雨 ← 変更することができる季節(ゆっくり点滅)

春 ← 現在選択されている季節(点灯)

<<>> ボタンを押すごとに、現在の季節と次の季節を交互に選択することができます。

- 1 ON/OFF ボタンを押して運転を開始します。ボタン下部のランプが点灯します。
- 2 「自動運転中」ランプが点灯するまで 家アイコン ボタンを押してください。
ボタンを1回押すごとに、自動運転中→小屋裏モード→床下モード→停止モード→という順に設定が変わります。
- 3 閉鎖:アラート部の矢印が縦横交互に点滅
開放:アラート部の矢印全体が点滅
屋外から床下ダンパーを閉じてください。
屋外から床下ダンパーを開けてください。
- 4 手順3の作業終了後、家アイコン ボタンを5秒以上長押ししてアラートを解除します。夏であれば床下モードに、秋であれば小屋裏モードに、通気モードが切替わります。※暮らし方設定や外気温度によっては停止モードになる場合があります。
- 5 全ての運転を停止したい場合は ON/OFF ボタンを押して運転を停止させます。ボタン下部のランプが消灯します。

ご注意

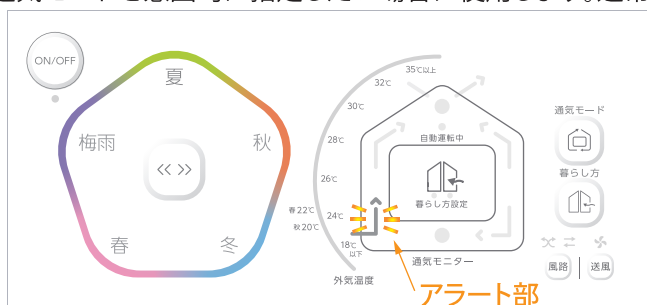
- 自動運転中、季節が夏になりアラート部が点滅したら、床下ダンパーを開放して床下モードで使用する時期です。床下ダンパーが開かれたことを確認できるまで、床下モード運転をおこないません。また、床下ダンパーの開放作業をおこなった場合でも、アラート解除をおこなわなかった場合は、開放されていないと判断し、夏でも小屋裏モードで運転します。
- 夏に床下ダンパーを開放し、アラートを解除をした後に再びSC床下ダンパーを閉じたとき、または季節の移行をおこなったときには自動運転を手順2からやり直してください。
- 停電後に電源復旧した際は、季節の移行操作がリセットされます。床下アラートも再度点滅しますので、床下ダンパーの開閉状況にあわせてアラート解除をおこなってください。
- 設定の変更操作後、変更が実際に反映されるまで60秒かかります。
- 半自動仕様の場合、季節のスキップ機能で、梅雨→夏のスキップはできません。
- 季節移行をおこなう際、特に梅雨明けの時期は気象情報にあわせた季節をおすすめします。

■自動運転時、アラート解除をおこなわなかった場合の運転

- ・夏に開放アラート解除をおこなわなかった場合(床下ダンパーが開いていない)
外気温度が18℃以上34℃未満のときに、小屋裏モードで運転します。
- ・秋に閉鎖アラート解除をおこなわなかった場合(床下ダンパーが閉じていない)
翌年の夏の開放アラート点滅期間まで停止モードで運転します。

■マニュアル運転

通気モードを意図的に指定したい場合に使用します。通常は自動運転でお使いください。



季節の移行期間が点滅したら

梅雨 ← 変更することができる季節(ゆっくり点滅)

春 ← 現在選択されている季節(点灯)

<<>> ボタンを押すごとに、現在の季節と次の季節を交互に選択することができます。

- 1 **ON/OFF** ボタンを押して運転を開始します。ボタン下部のランプが点灯します。
- 2 指定する通気モードの矢印マークが点灯するまで ボタンを押してください。
ボタンを1回押すごとに、自動運転中→小屋裏モード→床下モード→停止モード→という順に設定が変わります。
- 3 閉鎖：アラート部の矢印が縦横交互に点滅 開放：アラート部の矢印全体が点滅

屋外から床下ダンパーを閉じてください。

屋外から床下ダンパーを開けてください。
- 4 手順3の作業終了後、 ボタンを5秒以上長押ししてアラートを解除します。
※マニュアル運転時は、アラート解除後は解除前に指定していた通気モードに戻ります。
- 5 全ての運転を停止したい場合は **ON/OFF** ボタンを押して運転を停止させます。ボタン下部のランプが消灯します。

ご注意

- 設定の変更操作後、変更が実際に反映されるまで60秒かかります。
- 半自動仕様の場合、季節のスキップ機能で、梅雨→夏のスキップはできません。
- 季節移行をおこなう際、特に梅雨明けの時期は気象情報にあわせた季節をおすすめします。

■アラート部の点滅スケジュール

地域設定	床下ダンパー開放アラート	床下ダンパー閉鎖アラート	地域設定	床下ダンパー開放アラート	床下ダンパー閉鎖アラート
1	8/10～	10/1～	5	8/4～	10/20～
2	8/7～	10/20～	6	7/30～	11/1～
3	8/7～	10/20～	7	設定なし	設定なし
4	8/4～	10/20～			

※お住まいの地域が地域設定1～7のどこに該当するかは6ページを参照ください。

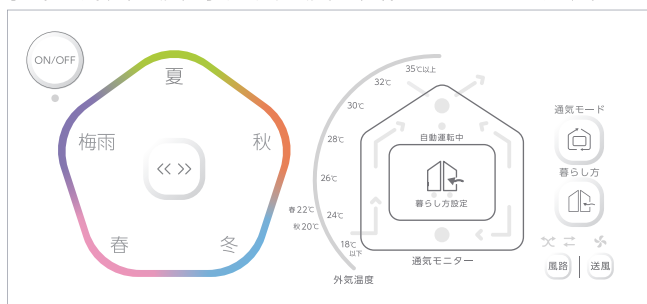
ご注意

- 設定の変更操作後、変更が実際に反映されるまで60秒かかります。
- 急な停電の際は小屋裏ファンは停止し、小屋裏給気口は閉鎖しますが、床下ダンパーは停電の瞬間の状態で停止します。
- 季節移行をおこなう際は、梅雨入りや梅雨明けの時期は特に、気象情報にあわせた季節をおすすめします。
- 梅雨のマニュアル運転時
床下モードまたは小屋裏モードで固定した運転をした場合、高湿な外気で家が湿気てしまう恐れがあるためマニュアル運転開始から60分後に自動運転に移行します。
- 春・夏・秋のマニュアル運転時
 - ① 床下モードまたは小屋裏モードで固定した運転をした場合、外気温20℃以下を感知すると一時的に運転を停止モードにします。60分後に再び床下モードまたは小屋裏モードで運転を再開します。
 - ② 外気温が35℃以上の場合は、自動的に30分間運転を停止モードにします。
- 冬のマニュアル運転時
床下モードまたは小屋裏モードで固定した運転をした場合、冷たい外気で家を冷やしてしまう恐れがあるためマニュアル運転開始から60分後に自動運転に移行します。

運転のしかた(循環タイプ—一般仕様)

■自動運転

季節と外気温度・小屋裏温度の変化にあわせて通気モードを自動で制御します。



季節の移行期間が点滅したら

梅雨 ← 変更することができる季節(ゆっくり点滅)

春 ← 現在選択されている季節(点灯)

<<>> ボタンを押すごとに、現在の季節と次の季節を交互に選択することができます。

- 1 **ON/OFF** ボタンを押して運転を開始します。ボタン下部のランプが点灯します。
- 2 「自動運転中」ランプが点灯するまで ボタンを押してください。
ボタンを1回押すごとに、自動運転中⇒小屋裏モード⇒床下モード⇒停止モード⇒という順に設定が変わります。
- 3 全ての運転を停止したい場合は **ON/OFF** ボタンを押して運転を停止させます。ボタン下部のランプが消灯します。

ご注意

- 設定の変更操作後、変更が実際に反映されるまで60秒かかります。
- 急な停電の際は、躯体内通気ファンは停止します。

■マニュアル運転

通気モードを意図的にマニュアル運転に固定して使用したい場合に使用します。通常は自動運転でお使いください。

- 1 **ON/OFF** ボタンを押して運転を開始します。ボタン下部のランプが点灯します。
- 2 指定する通気モードの矢印マークが点灯するまで ボタンを押してください。
ボタンを1回押すごとに、自動運転中⇒小屋裏モード⇒床下モード⇒停止モード⇒という順に設定が変わります。
- 3 全ての運転を停止したい場合は **ON/OFF** ボタンを押して運転を停止させます。ボタン下部のランプが消灯します。

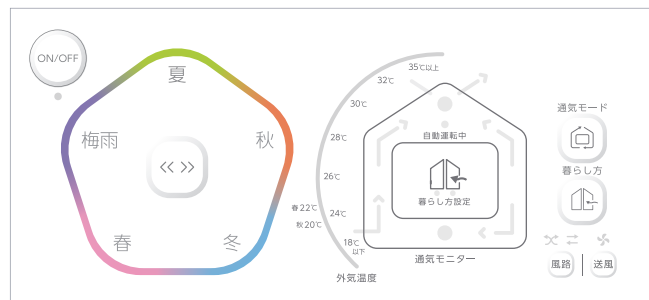
ご注意

- 設定の変更操作後、変更が実際に反映されるまで60秒かかります。
- 急な停電の際は、躯体内通気ファンは停止します。

運転のしかた(循環タイプー準耐火仕様)

■自動運転

季節と外気温度・小屋裏温度の変化にあわせて通気モードを自動で制御します。



季節の移行期間が点滅したら

梅雨 ← 変更することができる季節(ゆっくり点滅)

春 ← 現在選択されている季節(点灯)

<<>> ボタンを押すごとに、現在の季節と次の季節を交互に選択することができます。

- 1 ボタンを押して運転を開始します。ボタン下部のランプが点灯します。
- 2 「自動運転中」ランプが点灯するまで ボタンを押してください。
ボタンを1回押すごとに、自動運転中⇒小屋裏モード⇒床下モード⇒停止モード⇒という順に設定が変わります。
- 3 全ての運転を停止したい場合は ボタンを押して運転を停止させます。ボタン下部のランプが消灯します。

ご注意

- 設定の変更操作後、変更が実際に反映されるまで60秒かかります。
- 急な停電の際は、躯体内通気ファンは停止します。

■マニュアル運転

通気モードを意図的にマニュアル運転に固定して使用したい場合に使用します。通常は自動運転でお使いください。

- 1 ボタンを押して運転を開始します。ボタン下部のランプが点灯します。
- 2 指定する通気モードの矢印マークが点灯するまで ボタンを押してください。
ボタンを1回押すごとに、自動運転中⇒小屋裏モード⇒床下モード⇒停止モード⇒という順に設定が変わります。
- 3 全ての運転を停止したい場合は ボタンを押して運転を停止させます。ボタン下部のランプが消灯します。

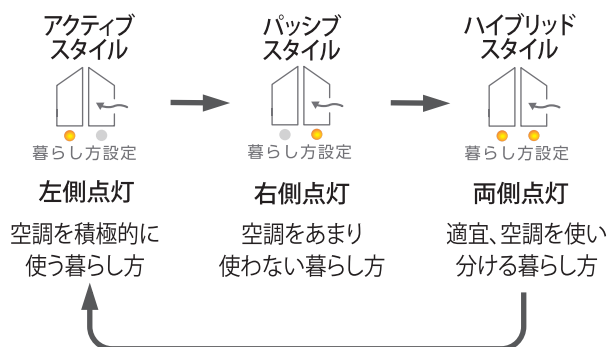
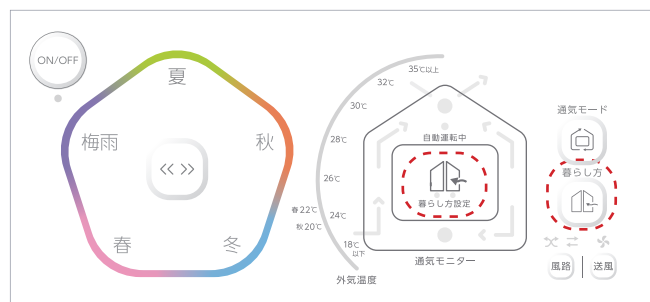
ご注意

- 設定の変更操作後、変更が実際に反映されるまで60秒かかります。
- 急な停電の際は、躯体内通気ファンは停止します。

暮らし方設定

室温調整のため空調を多く使用する暮らし方（アクティブスタイル）、夏は窓を開けて通風をするなど極力冷房を使用しない暮らし方（パッシブスタイル）、その両方を上手に併用しながらの暮らし方（ハイブリッドスタイル）を設定することで、それぞれの暮らし方に最適な通気モード切替や24時間換気の風路切換制御を調整する設定機能です。

各スタイルの制御一覧は18～21ページを参照ください。

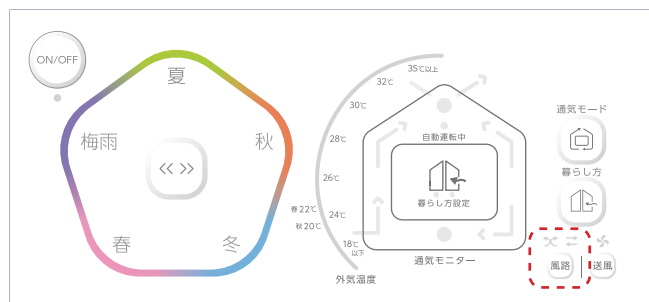


- 1 通常は消灯しています。 ボタンを1回押すと、現在設定されている状態が点灯します。
- 2 もう一度 ボタンを押して、設定を変更します。
1回押すごとに、アクティブスタイル→パッシブスタイル→ハイブリッドスタイル→と設定が切替わります。
- 3 希望する設定のランプが点灯したら、ボタン操作をやめます。操作をやめてから60秒後にランプが消灯します。
消灯と同時に設定が制御に反映されます。

※換気仕様「ユニエアリフレア（新）」を設定した場合はアクティブスタイル固定となり、その他のスタイルは選択できません。
左側が常時点灯します。

24時間換気風路切換制御

SC-SVシステム（SV-20U）をお使いの場合は、外気温度に応じて熱交換／外気導入を自動切換運転をおこなうか、または熱交換固定、外気導入固定をSCナビゲーターから制御することができます。



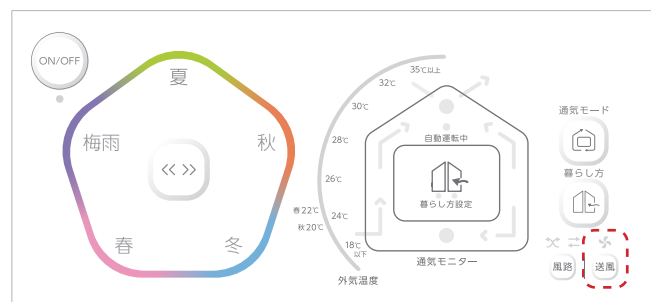
- 1 ボタンを1回押すと、現在設定されている状態が点灯します。
- 2 もう一度 ボタンを押して、設定を変更します。1回押すごとに、自動切換→熱交換固定→外気導入固定→点灯と設定が切替わります。
- 3 希望する設定のランプが点灯したら、ボタン操作をやめます。操作後60秒後以降は、自動切換設定であっても現在の運転状況（熱交換または外気導入のどちらか）を表示します。

ご注意

- 第3種換気およびリフレア（外気処理換気システム）をお使いの場合は、本機能を利用できません。
- 本体ディップスイッチの「風路切換制御機能の設定」を無効に設定された場合はどの表示ランプも点灯せず本機能は使用できません。
- SCナビゲーターの運転が停止しているときは熱交換固定で運転します。
- 自動設定の場合、熱交換・外気導入の切換え温度の制御内容は21ページをお読みください。

送風機能

設置された送風ファンの運転／停止を操作するスイッチとして使用します。送風ファンを操作したい時に任意で使用します。



ご注意

- 初期設定で送風機能有効／無効設定が「無効」に設定されている場合、本機能は使用できません。ランプは常時消灯しています。
- ボタン操作後すぐに送風ファンの運転／停止が反映されます。

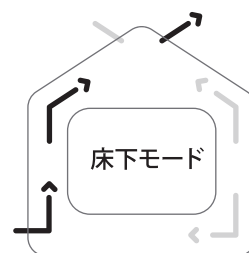
上手にお使いいただくために

■建物が完成してしばらくの間（開閉タイプの場合）

建物が完成してしばらくの間は、床下のコンクリートや室内の塗り壁などの乾燥にともない、水蒸気の発生が多くなりますので、通気モードボタンを押して「床下モード」に切替えて、床下や壁体内に湿気が滞留しないようにしてください。

ご注意

冬期の夜間は冷え込みますので、お天気のよい日中に適宜運転してください。なお、冬にマニュアル運転で床下モードで使用した場合は、60分後に自動運転に移行しますので、マニュアル運転はタイマー運転機能としてお使いください。



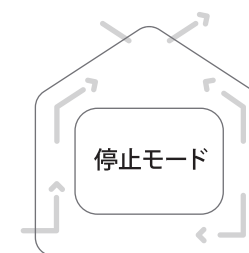
■外気を取り入れたくない時（開閉タイプの場合）

台風・雷雨・集中豪雨・濃霧等の天候時、近隣からの煙、悪臭、黄砂等の大気の状態が悪い時などは、通気モードボタンを押して一時的に停止モードとしてください。手動の床下ダンパーをお使いの場合は停止モードにすると共に床下ダンパーを閉めてください。

自動運転中で外気温が26℃以上の場合、60分で2℃以上外気温が低下した際には上記気象条件と判断し、一時的に停止モードになります。

ご注意

循環タイプの場合は外気を直接屋内に取り込む仕組みではないため通気モードは変更不要です。24時間換気風路切換えのみ熱交換に固定してください。



熱交換固定

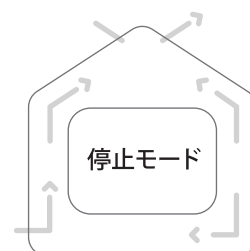


■床下浸水等の恐れがある時（開閉タイプの場合）

台風等による床下浸水や小屋裏給気口からの雨水侵入の恐れがある場合は、通気モードボタンを押して一時的に停止モードとしてください。手動の床下ダンパーをお使いの場合は停止モードにすると共に床下ダンパーも閉めてください。

ご注意

循環タイプの場合は外気を直接屋内に取り込む仕組みではないため通気モードは変更不要です。



自動運転時、外気温度と小屋裏温度によるシステムの動き方

開閉タイプ
自動仕様

季節	くらし方設定	外気 18℃未満	外気18℃～ A点温度未満	外気A点温度～30℃未満		外気30℃～32℃未満		外気32℃～ 34℃未満	外気 34℃以上
				小屋裏<外気	小屋裏>外気	小屋裏<外気	小屋裏>外気		
春	アクティブ スタイル	停止モード 	小屋裏モード 	床下モード 	小屋裏モード 	床下モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	停止モード
	ハイブリッド スタイル	停止モード 	小屋裏モード 	床下モード 	小屋裏モード 	床下モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	停止モード
	パッシブ スタイル	停止モード 	小屋裏モード 	床下モード 	小屋裏モード 	床下モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	停止モード
梅雨	アクティブ スタイル	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード
	ハイブリッド スタイル	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	小屋裏モード 	停止モード
	パッシブ スタイル	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	小屋裏モード 	停止モード
夏	アクティブ スタイル	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード
	ハイブリッド スタイル	停止モード 	小屋裏モード 	床下モード 	小屋裏モード 	停止モード 	小屋裏モード 	停止モード 	停止モード
	パッシブ スタイル	停止モード 	小屋裏モード 	床下モード 	小屋裏モード 	床下モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	停止モード
秋	アクティブ スタイル	停止モード 	小屋裏モード 	床下モード 	小屋裏モード 	床下モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	停止モード
	ハイブリッド スタイル	停止モード 	小屋裏モード 	床下モード 	小屋裏モード 	床下モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	停止モード
	パッシブ スタイル	停止モード 	小屋裏モード 	床下モード 	小屋裏モード 	床下モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	停止モード
冬	アクティブ スタイル	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード
	ハイブリッド スタイル	停止モード 	停止モード 	小屋裏モード 	床下モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード
	パッシブ スタイル	停止モード 	停止モード 	小屋裏モード 	床下モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード

※1 A点温度は季節に応じて異なります。(春22℃、夏24℃、秋20℃、冬23℃)

※2 小屋裏温度センサーを「無効」設定した場合、外気と小屋裏の温度比較制御はせず、通気モード名青字列が無くなります。

自動運転時、外気温度と小屋裏温度によるシステムの動き方

開閉タイプ
半自動仕様

季節	暮らし方設定	外気 18℃未満	外気18℃～ A点温度未満	外気A点温度～30℃未満		外気30℃～32℃未満		外気32℃～ 34℃未満	外気 34℃以上
				小屋裏<外気	小屋裏>外気	小屋裏<外気	小屋裏>外気		
春	アクティブ スタイル	停止モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	停止モード
	ハイブリッド スタイル	停止モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	停止モード
	パッシブ スタイル	停止モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	停止モード
梅雨	アクティブ スタイル	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード
	ハイブリッド スタイル	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	小屋裏モード 	停止モード
	パッシブ スタイル	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	小屋裏モード 	停止モード
夏 ※3	アクティブ スタイル	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード
	ハイブリッド スタイル	停止モード 	小屋裏モード 	床下モード 	小屋裏モード 	停止モード 	小屋裏モード 	停止モード 	停止モード
	パッシブ スタイル	停止モード 	小屋裏モード 	床下モード 	小屋裏モード 	床下モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	停止モード
秋 ※3	アクティブ スタイル	停止モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	停止モード
	ハイブリッド スタイル	停止モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	停止モード
	パッシブ スタイル	停止モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	停止モード
冬	アクティブ スタイル	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード
	ハイブリッド スタイル	停止モード 	停止モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード
	パッシブ スタイル	停止モード 	停止モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード 	停止モード

※1 A点温度は季節に応じて異なります。(春22℃、夏24℃、秋20℃、冬23℃)

※2 小屋裏温度センサーを「無効」設定した場合、外気と小屋裏の温度比較制御はせず、通気モード名青字列が無くなります。

※3 床下ダンパー開閉アラートに対し、床下ダンパー開閉作業をしなかった場合の運転は12ページを参照ください。

お使いになる前に

運転のしかた

お手入れ

困ったとき

自動運転時、外気温度と小屋裏温度によるシステムの動き方

循環タイプ
両仕様

季節	くらし方設定	外気 18℃未満	外気18℃～ 23℃未満	外気23℃～28℃未満		外気28℃～34℃未満		外気 34℃以上
				小屋裏<28℃	小屋裏≥28℃	小屋裏<28℃	小屋裏≥28℃	
春	アクティブ スタイル	停止モード 	床下モード 	床下モード 	床下モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード
	ハイブリッド スタイル	停止モード 	床下モード 	床下モード 	床下モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード
	パッシブ スタイル	停止モード 	床下モード 	床下モード 	床下モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード
梅雨	アクティブ スタイル	床下モード 	床下モード 	床下モード 	床下モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード
	ハイブリッド スタイル	床下モード 	床下モード 	床下モード 	床下モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード
	パッシブ スタイル	床下モード 	床下モード 	床下モード 	床下モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード
夏	アクティブ スタイル	床下モード 	床下モード 	床下モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード
	ハイブリッド スタイル	停止モード 	停止モード 	床下モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード
	パッシブ スタイル	停止モード 	停止モード 	床下モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード
秋	アクティブ スタイル	停止モード 	床下モード 	床下モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード
	ハイブリッド スタイル	停止モード 	床下モード 	床下モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード
	パッシブ スタイル	停止モード 	床下モード 	床下モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード
冬	アクティブ スタイル	床下モード 	床下モード 	床下モード 	床下モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード
	ハイブリッド スタイル	停止モード 	停止モード 	床下モード 	床下モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード
	パッシブ スタイル	停止モード 	停止モード 	床下モード 	床下モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード 	小屋裏モード

※ 準耐火仕様も一般仕様も、自動運転時の制御内容は同じです。

お使いになる前に

運転のしかた

お手入れ

困ったとき

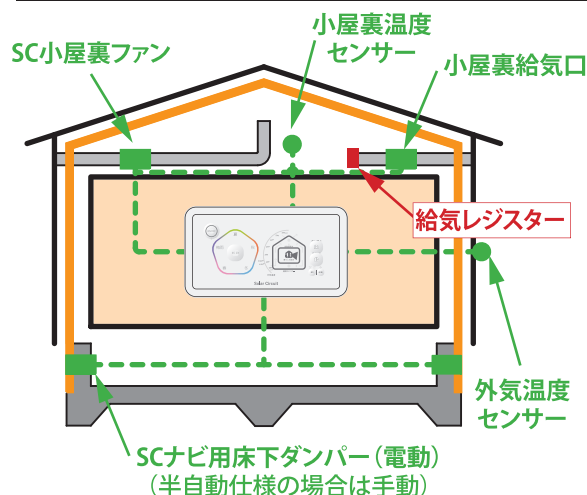
暮らし方設定と24時間換気風路切換制御の動き方

季節	暮らし方設定	設置地域の設定	24時間換気風路切換ダンパー制御			
			ユニエア・リフレア（新）	第1種換気	第3種換気	リフレア（旧）・全館除湿
春	アクティブスタイル	1～6	熱交換／外気導入自動切換 (外気温22～28℃時に外気導入)	熱交換／外気導入自動切換 (外気温22～28℃時に外気導入)	—	熱交換／外気導入自動切換 (外気温22～28℃時に外気導入)
		7	熱交換のみ	熱交換／外気導入自動切換 (外気温22～28℃時に外気導入)	—	熱交換／外気導入自動切換 (外気温22～28℃時に外気導入)
	ハイブリッドスタイル	1～6	※1 ハイブリッドスタイル 使用不可	熱交換／外気導入自動切換 (外気温22～28℃時に外気導入)	—	熱交換／外気導入自動切換 (外気温22～28℃時に外気導入)
		7		熱交換／外気導入自動切換 (外気温22～28℃時に外気導入)	—	熱交換／外気導入自動切換 (外気温22～28℃時に外気導入)
	パッシブスタイル	1～6	※1 パッシブスタイル 使用不可	熱交換／外気導入自動切換 (外気温22～28℃時に外気導入)	—	熱交換／外気導入自動切換 (外気温22～28℃時に外気導入)
		7		熱交換／外気導入自動切換 (外気温22～28℃時に外気導入)	—	熱交換／外気導入自動切換 (外気温22～28℃時に外気導入)
梅雨	アクティブスタイル	1～6	※1 ハイブリッドスタイル パッシブスタイル 使用不可	熱交換のみ	—	熱交換のみ
		7				
	ハイブリッドスタイル	1～6				
		7				
	パッシブスタイル	1～6				
		7				
夏	アクティブスタイル	1～6	熱交換のみ	熱交換のみ	—	熱交換のみ
		7				
	ハイブリッドスタイル	1～6	※1 ハイブリッドスタイル 使用不可	熱交換／外気導入自動切換 (外気温24～27℃時に外気導入)	—	熱交換のみ
		7		熱交換／外気導入自動切換 (外気温24～27℃時に外気導入)		
	パッシブスタイル	1～6	※1 パッシブスタイル 使用不可	熱交換／外気導入自動切換 (外気温24～27℃時に外気導入)	—	熱交換のみ
		7		熱交換／外気導入自動切換 (外気温24～27℃時に外気導入)		
秋	アクティブスタイル	1～6	熱交換／外気導入自動切換え (外気温24～27℃時に外気導入)	熱交換／外気導入自動切換 (外気温24～27℃時に外気導入)	—	熱交換／外気導入自動切換 (外気温24～27℃時に外気導入)
		7	熱交換のみ	熱交換／外気導入自動切換 (外気温24～27℃時に外気導入)		熱交換／外気導入自動切換 (外気温24～27℃時に外気導入)
	ハイブリッドスタイル	1～6	※1 ハイブリッドスタイル 使用不可	熱交換／外気導入自動切換 (外気温24～27℃時に外気導入)	—	熱交換／外気導入自動切換 (外気温24～27℃時に外気導入)
		7		熱交換／外気導入自動切換 (外気温24～27℃時に外気導入)		熱交換／外気導入自動切換 (外気温24～27℃時に外気導入)
	パッシブスタイル	1～6	※1 パッシブスタイル 使用不可	熱交換／外気導入自動切換 (外気温24～27℃時に外気導入)	—	熱交換／外気導入自動切換 (外気温24～27℃時に外気導入)
		7		熱交換／外気導入自動切換 (外気温24～27℃時に外気導入)		熱交換／外気導入自動切換 (外気温24～27℃時に外気導入)
冬	アクティブスタイル	1～6	熱交換のみ	熱交換のみ	—	熱交換のみ
		7				
	ハイブリッドスタイル	1～6	※1 ハイブリッドスタイル 使用不可	熱交換／外気導入自動切換 (外気温22～27℃時に外気導入)	—	熱交換／外気導入自動切換 (外気温22～27℃時に外気導入)
		7				
	パッシブスタイル	1～6	※1 パッシブスタイル 使用不可	熱交換／外気導入自動切換 (外気温22～27℃時に外気導入)	—	熱交換／外気導入自動切換 (外気温22～27℃時に外気導入)
		7				

※1 換気仕様「ユニエア/リフレア（新）」はアクティブスタイルのみ使用できます。ハイブリッドスタイルまたはパッシブスタイルは選択できません。

※2 換気仕様「第3種換気」は熱交換装置および風路切換ダンパーが無い場合、24時間換気風路切替制御機能を使用できません。

システムの動作点検とお手入れ(開閉タイプ) 1年に1度以上の点検をおすすめします。



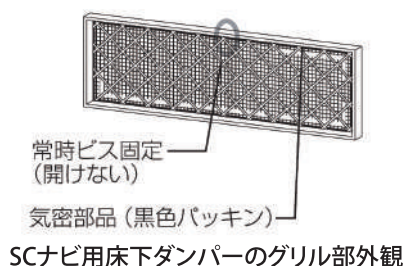
ご注意

- システム動作点検時は、年月日と時間設定のチェックもおこなってください。
- 季節表示「春・夏・秋」に床下モードまたは小屋裏モードのマニュアル運転をおこなうと、外気温度が低温時には停止モードに移行しますので、気温が低い時の点検は避けてください。
- SC床下ダンパーについては手動での動作確認をおこなってください。
- ボタン操作で設定変更後、動作が切替わるまでに60秒かかります。
- 電動のSCナビ用床下ダンパーの、屋外側グリル部は開けないでください。指などが挟まれてケガをする恐れがあります。

- 1 ボタンを押して運転を開始します。ボタン下部のランプが点灯します。
- 2 「床下モード」の矢印マークが点灯するまで ボタンを押してください。
ボタンを1回押すごとに、自動運転中→小屋裏モード→床下モード→停止モードという順に設定が変わります。
- 3 ①SC小屋裏ファンの送風音が強運転であることを確認
②小屋裏給気口の閉鎖を確認(給気レジスターから空気が入って来ていない)
③屋外からSCナビ用床下ダンパーの開放を確認(手動のSC床下ダンパーの場合は屋外から開放)
- 4 「小屋裏モード」の矢印マークが点灯するまで ボタンを押してください。
ボタンを1回押すごとに、自動運転中→小屋裏モード→床下モード→停止モードという順に設定が変わります。
- 5 ①SC小屋裏ファンの送風音が弱運転であることを確認。(3.の強運転時より運転音が小さくなったことを確認)
②小屋裏給気口の開放を確認(給気レジスターから空気が入って来る)
③SCナビ用床下ダンパーの閉鎖を確認(手動のSC床下ダンパーの場合は屋外から閉鎖)
- 6 「停止モード」になるまで ボタンを押してください。
ボタンを1回押すごとに、自動運転中→小屋裏モード→床下モード→停止モードという順に設定が変わります。
- 7 ①SC小屋裏ファンが停止していることを確認
②小屋裏給気口の閉鎖を確認(給気レジスターから空気が入って来ていない)
③屋外からSCナビ用床下ダンパーの閉鎖を確認(手動のSC床下ダンパーの場合は屋外から閉鎖)

■床下ダンパーのお手入れ

日常点検で屋外のグリル部(ステンレスメッシュの扉)に大きなゴミや、多量のホコリが付着している場合、グリルの屋外面からやわらかい毛先のブラシなどで取り除いてください。この際、SCナビ用床下ダンパーの場合はSCナビゲーターの電源をOFFにして床下ダンパーを閉鎖し、手動のSC床下ダンパーの場合は屋外から閉鎖して、多量のホコリが屋内側に入らないようにしてください。



SCナビ用床下ダンパーのグリル部外観

お願い

- 気密部品の交換目安は5年です。交換は工務店様に依頼してください。
- SCナビ用床下ダンパーの場合は、屋外グリル部は開けないでください。挟まれてケガをする恐れがあります。
- 草刈り機などを近くでお使いのときは、ゴミが噛みこまないように床下ダンパーを閉鎖してください。異物の噛みこみを発見したときは工務店様までご相談ください。また、高圧洗浄水の使用は破損の原因となりますのでおやめください。

■床下ダンパーのお手入れ(つづき)

お願い

- 表面の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。(濡れた布は感電の原因となります)
清掃の際には、SCナビゲーターの運転を停止させてからおこなってください。
- お手入れに下記の溶剤等を使用しないでください。(変質、変色の原因になります)
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等
研磨材入りの洗剤など。

■外気温度センサーおよび小屋裏温度センサーのお手入れ

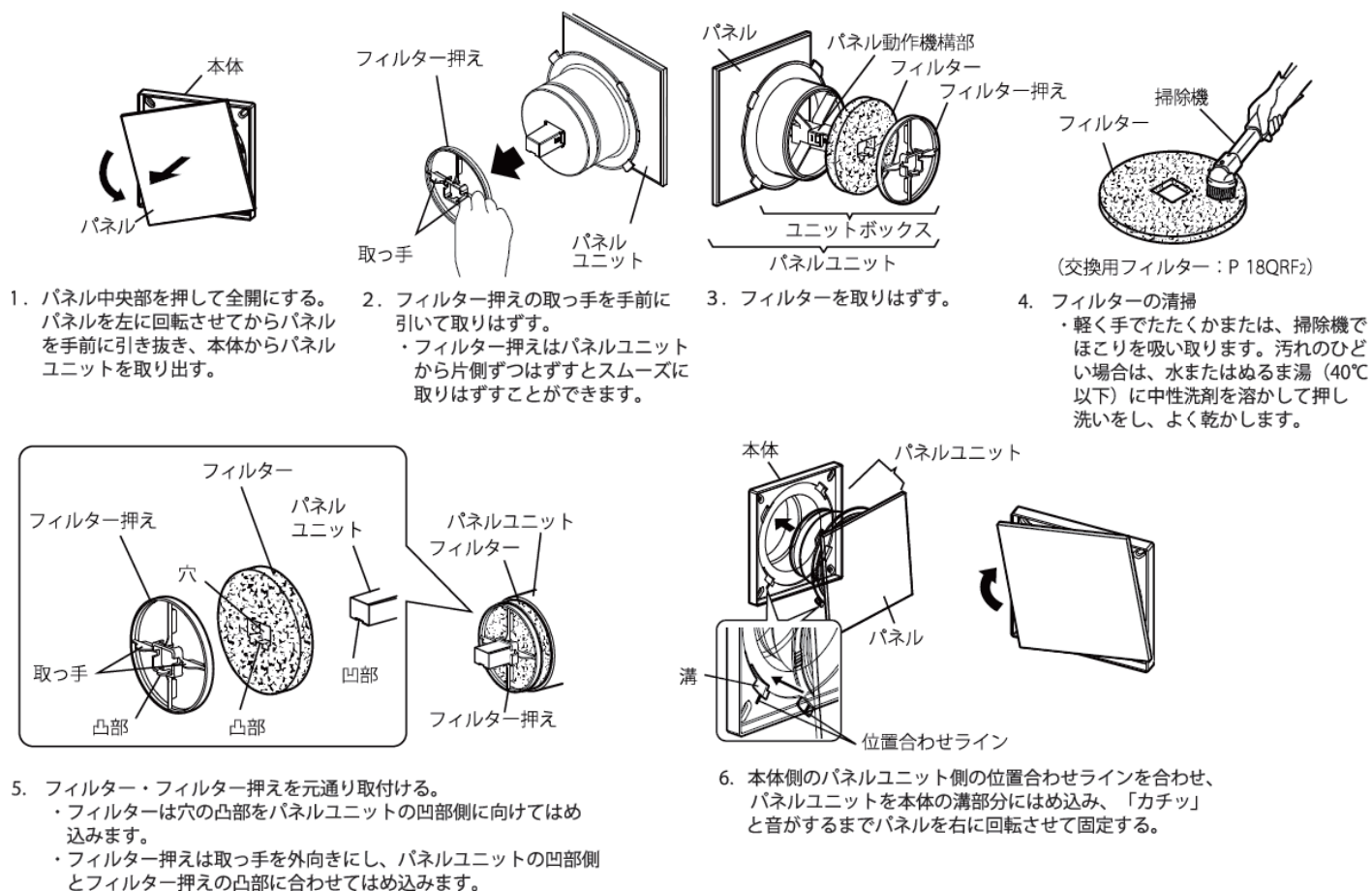
大きなゴミ、クモの巣などがセンサーに付着していたら取り除いてください。

その際、センサーに強い力が加わらないようにしてください。断線など故障の原因となります。

センサーが高い所に取付けられている場合や設備機器等で隠れている場合は、工務店様へお手入れを依頼されることをおすすめします。

■小屋裏給気口(給気レジスター)のお手入れ

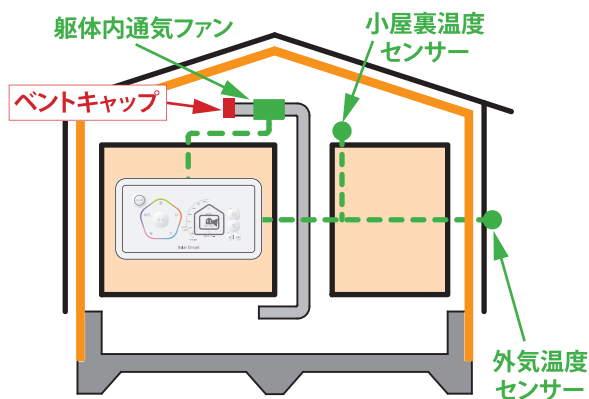
小屋裏レジスターにホコリが付着すると風量低下や異常音発生の原因になります。1年に1回を目安としてお掃除してください。春先の通気で溜まったホコリを、夏の運転前に清掃することをおすすめします。

- 
1. パネル中央部を押して全開にする。
パネルを左に回転させてからパネルを手前に引き抜き、本体からパネルユニットを取り出す。
 2. フィルター押えの取っ手を手前に引いて取りはずす。
・フィルター押えはパネルユニットから片側ずつはずすとスムーズに取りはずすことができます。
 3. フィルターを取りはずす。
 4. フィルターの清掃
・軽く手でたたくかまたは、掃除機でほこりを吸い取ります。汚れのひどい場合は、水またはぬるま湯(40℃以下)に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かします。
(交換用フィルター:P 18QRF2)
 5. フィルター・フィルター押えを元通り取付ける。
・フィルターは穴の凸部をパネルユニットの凹部側に向けてはめ込みます。
・フィルター押えは取っ手を外向きにし、パネルユニットの凹部側とフィルター押えの凸部に合わせてはめ込みます。
 6. 本体側のパネルユニット側の位置合わせラインを合わせ、パネルユニットを本体の溝部分にはめ込み、「カチッ」と音がするまでパネルを右に回転させて固定する。

お願い

- フィルターを水洗いした場合は、よく乾かして十分に水気を取ってください。
- フィルターを熱湯で洗ったり、もみ洗いしたり、直接火で乾かすことはしないでください。
- フィルターは、水洗い5~6回を目安に別売の交換用フィルターと交換してください。
- フィルター押えは確実にパネルユニットに取付けてください。固定が不十分な場合、虫やホコリ侵入の恐れがあります。
- パネル動作機構は分解しないでください。

システムの動作点検とお手入れ(循環タイプ) 1年に1度以上の点検をおすすめします。



ご注意

- システム動作点検時は、年月日と時間設定のチェックもおこなってください。
- ボタン操作で設定変更後、動作が切替わるまでに60秒かかります。

※左図は循環タイプ一般仕様を例として図示しています。

- 1 ボタンを押して運転を開始します。ボタン下部のランプが点灯します。
- 2 「床下モード」の矢印マークが点灯するまで ボタンを押してください。
ボタンを1回押すごとに、自動運転中→小屋裏モード→床下モード→停止モードという順に設定が変わります。
- 3 小屋裏のベントキャップに手をかざし、床下方向に空気が吸い込まれていることを確認。
- 4 「小屋裏モード」の矢印マークが点灯するまで ボタンを押してください。
ボタンを1回押すごとに、自動運転中→小屋裏モード→床下モード→停止モードという順に設定が変わります。
- 5 小屋裏のベントキャップに手をかざし、小屋裏側に勢いよく空気が吹き出している事を確認。
※マニュアル運転では小屋裏モード強運転のみ設定が可能です。
- 6 「停止モード」になるまで ボタンを押してください。
ボタンを1回押すごとに、自動運転中→小屋裏モード→床下モード→停止モードという順に設定が変わります。
- 7 躯体内通気ファンが停止していることを確認。

送風用ファンの動作点検とお手入れ 1年に1度以上の点検をおすすめします。

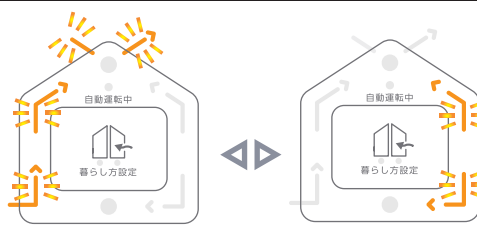
- 1 ボタンを押して送風用ファンを運転します。ボタン上部のランプが点灯します。
- 2 送風用ファンが設置されている場所で、動作音を確認して正常な動作音で運転していることを確認。
- 3 ボタンを押して送風用ファンの運転を停止します。ボタン上部のランプが消灯します。
- 4 送風用ファンが設置されている場所で、ファンが停止して動作音がしないことを確認。

お願い

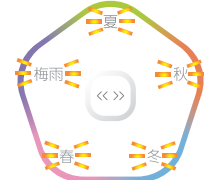
- 送風システムの吸込口にフィルターが設置されている場合、フィルターメンテナンスを定期的におこなってください。

エラー表示と解除方法

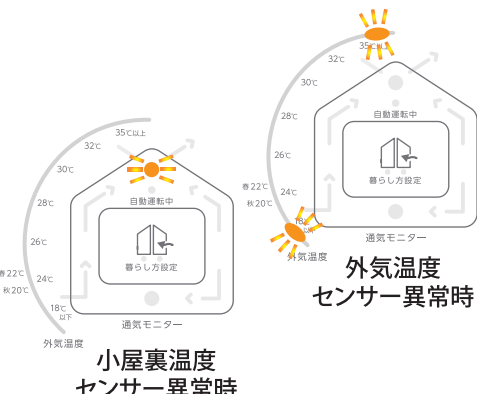
■仕様の初期設定が済んでいない

状態	地域や仕様の設定をおこなうディップスイッチの設定が工場出荷時のままとなっている場合、循環タイプの通気経路矢印マークと開閉タイプの通気モード矢印表示が交互に点滅します。	
解除方法	ON/OFFボタンを押して運転を停止し、前面パネルを外して7ページを参考に初期設定を完了させます。設定完了後、再度SCナビゲーターを運転すると、設定が反映されます。 (前面パネルの外し方は据付工事説明書を参照ください)	

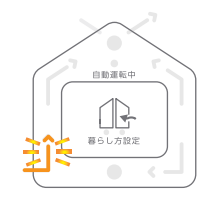
■年月日、時刻設定が済んでいない

状態	工場出荷時のまま年月日と時間設定がおこなわれていない場合は、季節の文字が全て点滅します。	
解除方法	前面パネルを外し、8ページを参考に年月日と時刻設定を設定します。 (前面パネルの外し方は据付工事説明書を参照ください)	

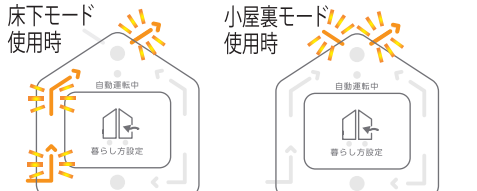
■温度センサーの接続異常

状態	外気温度センサー、小屋裏温度センサー、またはその両方が本体コネクタに正しく差込まれていない場合や、センサーコードが途中で断線している場合、それぞれ下記の部位が点滅します。 ●外気温度センサー接続異常：外気温度表示ランプ（18℃未満と35℃以上）が交互に点滅 ●小屋裏温度センサー接続異常：小屋裏温度ランプが赤色で点滅	
解除方法	温度センサーのコネクタが正しく差込まれると、点滅が無くなります。 ※センサーコード断線の場合はコネクタの抜き差しでは解決しません。該当するセンサーコードを新品と交換する必要があります。	

■手動床下ダンパーの開閉アラート

状態	手動仕様では自動運転の設定時、夏の期間は床下モードにするため夏に移行するタイミングと夏から秋に移行するタイミングの年に2回、手動の床下ダンパーを開閉していただく作業をお知らせするため左下の床下モード通気経路矢印が点滅します。	
解除方法	手動の床下ダンパー開閉をおこなった後に「通気モード」ボタンを5秒以上長押ししてください。※詳しくは12ページを参照ください。	

■通気の緊急停止（開閉タイプ）

状態	開閉タイプの場合、マニュアル運転中に通気モード矢印表示が点滅する場合があります。	
解除方法	マニュアル運転中に外気温度が20℃以下または35℃以上の場合、一時的に停止モードになった事を知らせるものです。外気温度が20℃を超え、35℃未満に戻ると、自動的に運転が再開され、点滅が消えます。	

■本体異常

状態	年月日や時刻設定の機能不全など、SCナビゲーター本体が正常に使用することができないと判断される場合は、ON/OFFボタン下部のランプが点滅し、その他の表示は全て消灯します。ブレーカーの入切でも改善されない場合は、28ページ下段の問合せ先までご相談ください。	
解除方法	なし。(修理や交換が必要)	

■停電後の復旧について

自動運転中：通気モードおよび送風は停電前の状態で機器の運転が再開されます。ただし、季節の移行操作のみリセットされるため、移行をした場合は季節の移行操作を再度おこなってください。

マニュアル運転中：通気モードは停止モード、送風は停止で運転が再開されます。季節の移行操作もリセットされるため季節を移行をした場合は再度季節の移行操作をおこなってください。

故障かな?と思ったら

故障かな?	お答えします
SCナビゲーター	ON/OFFボタンを押しても何も点灯しない
	ブレーカーは「入」になっていますか？ 停電ではありませんか？
	床下・小屋裏の温度ランプが点灯しない
	マニュアル運転時は、異常時以外点灯しません。
	通気モードが常時、停止モードになっている
	自動運転時に外気温度が20℃未満、または35℃以上、マニュアル運転時に外気温度が20℃未満のときは、一時的に停止モードになります。
	操作後に通気モードが切替らない
	最後の操作をおこなってから60秒後に設定が反映されます。
	SCナビゲーターから時折カチッと音がる
	接続機器を制御するためのリレー部品の動作音です。正常な動作音であり、異常ではありません。なお、ON/OFFボタンを押して運転を開始したときにカチカチカチと5回音が鳴ります。
接続機器	異常な動作音がする。 (大きな音、断続的な開閉音など)
	床下ダンパー：故障の可能性があります。 工務店様にご連絡ください。 小屋裏ファン：ファン内部のシャッターからカラカラという音が聞こえる時があります。 小屋裏給気口：電動シャッターが閉鎖する時に「パタッ」という音が聞こえる時があります。 躯体内通気ファン：故障の可能性があります。 工務店様にご連絡ください。
	こげ臭いにおいがする
	電気系統に異常がある恐れがあります。 工務店様にご連絡ください。
	電動のSCナビ用床下ダンパーが動かない。 (SCナビゲーターは動作している)
	ブレーカーはONになっていますか？SCナビ用床下ダンパーの電源線はSCナビゲーターとは別のブレーカーから電源を取っている場合があります。
	電動のSCナビ用床下ダンパーが完全に閉鎖しない。 (SCナビゲーターは動作している)
	何かが挟まっているか、部品の欠損の可能性があります。または、床下ダンパー施工時のビス固定が甘く、ねじれが生じている可能性があります。 工務店様にご連絡ください。
	玄関ドアを開けるのが重くなった。 給気口からの風の流入が多くなった。
	●小屋裏ファンの風量設定は正しいですか？工場出荷時は風量設定が最大になっています。 ●半自動仕様で、夏に床下ダンパーを閉めたままではないですか？
	電源起動時、電動のSCナビ用床下ダンパーが勝手に開閉する。
	開閉タイプの場合、停電時や電源をOFFにした後、再度通電させた際にSCナビ用床下ダンパーが途中で開いたままとなってしまうよう、本体電源をONにした際にSCナビ用床下ダンパーを一度完全に開けてから閉じるという制御があります。異常ではありません。

近くで落雷があったときには、22～24ページを参照し、動作点検をおこない異常がないか確認してください。システム動作点検とあわせて、外気温度センサー、小屋裏温度センサー、床下ダンパー、小屋裏給気口、屋外フードの日常点検をお願いします。なお、小屋裏ファン、小屋裏給気口の屋外フード、防火ダンパー温度ヒューズの点検は工務店様に依頼してください。

機器の主仕様

■SCナビゲーター

形名	定格電圧・周波数	定格電流
TS-300	AC100V 50Hz/60Hz	・共通 - 強:2.4A ・共通 - 弱:0.4A ・共通 - 給:0.5A ・風路 - 風路:0.8A ・床下D - 床下D:1.0A 合計5.1A

■SCナビ用床下ダンパー

形名	定格電圧・周波数	定格消費電力	使用環境についての注意
P-23DE-KN-1	(電源線側) AC100V (信号線側) AC100V (定格周波数) 50Hz/60Hz	45W/33W	塩害地域においてはサビの発生による部品交換の頻度が一般地域より多くなることがあります。

■SC小屋裏ファン

形名	定格電圧・周波数	定格消費電力
SC-RF	AC100V 50-60Hz	強:最大37W(風量5運転時) 弱:最大16.5W(風量5運転時)

■小屋裏給気口

形名	定格電圧・周波数	定格消費電力
P-18DUEQ3-KN	AC100V 50Hz/60Hz	3.9W/3.4W

■躯体内通気ファン

形名	定格電圧・周波数	定格消費電力
V-150CRL-D	AC100V 50Hz/60Hz	強:16W/19.5W 弱:7W/8.5W 給:7W/8.5W

■躯体内通気ファン(サブ)※準耐火仕様

形名	定格電圧・周波数	定格消費電力
V-100CPLU	AC100V 50Hz/60Hz	強:7.6W/8.2W 弱:3.5W/3.8W

■送風機能用ファン(大)

形名	定格電圧・周波数	定格消費電力
V-150CL	AC100V 50Hz/60Hz	強:16W/19.5W 弱:7W/8.5W

■送風機能用ファン(小)

形名	定格電圧・周波数	定格消費電力
V-100CPLU	AC100V 50Hz/60Hz	強:7.6W/8.2W 弱:3.5W/3.8W

※上記仕様は予告なく変更となる場合があります。

修理やお手入れのご相談・お問い合わせ

■補修用部品の最低保有期間は

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間です。
性能部品とは、その部品の性能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるときは

- 故障かな？と思ったら26ページにしたがってお調べください。
- 不具合があるときは、電気工事を依頼した工務店様にご相談ください。修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。修理料金は、技術料+部品代+出張料などで構成されています。
- ご連絡いただきたい内容
 1. システム名：ソーラーサーキット
 2. SCナビゲーター、小屋裏ファン、小屋裏給気口、電動床下ダンパー、躯体内通気ファン、送風機能用ファン等
 3. 故障内容：できるだけ具体的に（床下ダンパーが動かない、ファンが動かない、異常音がある等）
 4. ご住所、お名前、連絡先(電話番号)、付近の目印など

こんな症状がある 状態で使用しては いませんか？	・こげ臭いにおいがする ・ピリピリと電気をを感じる ・その他の異常や故障がある	▶	ご使用の中止	故障や事故防止のため、必ず運転を 停止し、ブレーカーを切ってからお建 てになった工務店様に点検・修理を ご相談ください。
お施主様メモ	入居した時期 年 月 日		工務店名 電話	

警告

お手入れの際は、分電盤のブレーカーを切ってください。通電状態では感電やケガをする恐れがあります。

ご注意

お手入れの際は手袋を着用してください。(着用しないとケガの原因になります)

お手入れの際は足元が不安定な状態で着脱および清掃はおこなわないでください。(転倒によりケガの恐れがあります)

お願い

- 塩害地域でご使用になる場合は、サビによる部品交換が一般地域に比べ多くなります。
- 長年ご使用の機器は、異常を感じる前に工務店様に点検を依頼してください。

●各説明図・写真(一部)・イラスト等はイメージであり、撮影や印刷の関係で実際とは色が異なる場合があります。

●ソーラーサーキット、SC-SVシステム、SCナビシステム、SCナビ、SCナビゲーター、リフレア、ベース空調システムは株式会社カネカの登録商標です。

製品・技術に関するお問い合わせ

システム開発 資材提供

株式会社カネカソーラーサーキットのお家

〒107-6028 東京都港区赤坂1-12-32

TEL：03-5574-8139 [受付時間] 10:00～17:00

カスタマーサービス

TEL：0800-170-8669 [受付時間] 9:30～12:00/13:00～17:00

サポートサイト <https://www.schs.co.jp/support/>